

日本民家園だより

特集 まもなく開園50周年! Vol.86



民家園を支える

裏方 **Q** & **A**



民家園を支える縁の下の力持ちQ&A

広い敷地に25件の文化財建造物を保存する民家園では、展示環境の整備や安全のために、日々多くのスタッフが仕事をしています。お客様がいただく民家園にまつわる素朴な疑問のなかには、野外博物館ならではの理由や民家園をかげで支えるスタッフの地道な取り組みがかかれています。今回は、Q&Aでそんな縁の下の力持ちたちの取り組みをご紹介します。

Q どうして夏でも囲炉裏で火を焚いているの？

A 民家園では、古民家の維持保存を目的に囲炉裏で火を焚いています。煙で古民家全体を燻煙することで、家を害虫から守り、部材を丈夫にすることができます。火焚きは、民家園ボランティア「炉端の会」と清掃スタッフによって毎日行われ、一年を通してどの古民家もまんべんなく燻煙されるよう、年間計画を立てて取り組んでいます。



Q 園内の植物はどのように管理しているの？

A 通風をよくするため、草や低木は、職員や清掃スタッフが定期的に草むしりや剪定を行っています。また大きな木は、専門の職人さんが登って剪定をしています。いずれも古民家を良い環境で保存するための大事な仕事です。

Q 休園日の園内はどうなっているんですか？

A 毎月一回、休園日に行われる定期清掃では、古民家の畳を外で干し、職員と清掃スタッフで一年分積もった煤をはたき落とす煤払いを行っています。

Q 民家園の古民家はどうやって運んできたの？

A 古民家は全て旧所在地で解体され、部材の状態で民家園に運び、再度組み立てています。民家園では、古民家を建築当初の姿に戻して建てる「当初復原」という方法をとっていることから、古民家の専門知識を持つ職員や昔ながらの技術をもつ鳶職人・大工・左官職人など、多くの技術者で検証しながら作業が行われます。



Q 夜の民家園は誰もいないの？

A 閉園時間になると、警備員が古民家一軒一軒を点検して戸締りを行います。夜間も警備員が広い園内の見回りを行い、文化財を守っています。

Q 台風や雪の日は古民家は大丈夫？

A 台風がくる前には、窓に専用の板戸を入れ、雪が積もると職員総出で雪かきをします。また、樹木や屋根根からの落雪、園路の凍結など、注意と安全確保が欠かせません。





Q 災害の時は大丈夫ですか？

A 民家園では現在、古民家の耐震補強工事を順次進めています。また、地震による火災発生を想定して、地元消防署と連携した訓練を定期的に行っています。

Q 民家園で昔の手仕事をしている人たちは誰ですか？

A 民具製作技術保存会（通称：民技会）の方々です。わら細工・竹細工・機織りの技術伝承をしています。また、日本各地で民具の製作方法を教わり、その作り方を文章や図で記録に残す調査・研究活動も行っています。

Q 障子は誰が張っているの？

A 古民家の障子は、炉端の会から有志が集まった「障子張りチーム」が、職員とともに定期的に行っています。障子一枚も文化財建造物の大切な一部なので、伝統的な細川和紙を用いて、細心の注意を払って張り替えています。

Q 囲炉裏で焚く薪はどうやって集めているの？

A 生田緑地内で伐採された木や造園業者などから提供される木を利用しています。職員が樹種や木の状態を見極めながら、チェーンソーや薪割機を使って割っていきます。薪は運搬機やネコ車に載せて、園内各所の古民家へ運びます。



Q 車イスやベビーカーを使って、園内を見学できるの？

A 車イスやベビーカーに乗って園内を見学できます。古民家の敷居には、警備員がスロープをかけ、車イスで土間に入れる家もあります。急な坂や階段には、安全に歩けるよう手すりや柵があり、木や竹の自然素材で劣化した箇所を職員がメンテナンスしています。



Q 建物の修理はどのくらいの頻度でやっているの？

A 修理で最も頻度が高いのは、屋根の葺き替えや修理で、専門の職人さんによって行われます。平均して7～8年で部分的な小修理である「差茅」を行い、20～30年毎に全面的な葺き替えをする必要があります。



まもなく、開園 50 周年!

日本民家園は、平成29年4月1日に開園50周年を迎えます。これを機に、これからも民家園を多くの人に楽しんでいただくため、様々な取り組みを行います。今回はその一部をご紹介します。

① 音声ガイドが導入されます!

古民家の解説をいつでも気軽に聞けるように、スマートフォンを使用した音声ガイドを、平成29年4月1日から導入します。スマートフォンで専用アプリをダウンロードすれば、間取り図や貴重な古写真などを見ながら、古民家に関する解説を聞くことができます。音声は日本語と英語・中国語・韓国語の4か国語を用意しています。さらに園内地図が表示されるほか、イベント情報なども確認できるので、スマートフォンをお持ちの方はぜひ活用してみてください。App Store または Google Play Store から無料でダウンロードできます。



② 新・企画展示室が4月29日オープン!



50周年を機に、本館の第2展示室を企画展示室として改装し、平成29年4月29日に初披露します。50周年を記念する特別展では、民家園の歴史を振り返り、開園当初の珍しい資料や懐かしいポスターなどを展示する予定です。このほかにも、新しい授乳室が整備され、ミュージアムショップには古民家写真集やポストカードなどの新しい商品が登場しますので、お楽しみに。

③ みんなで50周年を盛り上げよう! 記念イベント開催

50周年を多くのみなさんとともに祝うため、平成29年4月29日に記念イベントを開催します。川崎市内の伝統芸能である木遣り唄、新城囃子曲持、菅獅子舞を公演する予定です。豪華3本立てで開園50周年の機運を盛り上げます。さらに永く多くの人に愛される博物館を目指したいという願いを込めて、たくさんの方に見ていただける形で実施します。春の連休初日は、ぜひ民家園にお越しください。詳細は、決まり次第ウェブサイトにてお知らせします。



新城囃子曲持(川崎市教育委員会提供)

日本民家園だより Vol.86 発行：平成29年2月1日

川崎市立日本民家園 URL <http://www.nihonminkaen.jp/>

〒214-0032 川崎市多摩区桁形7-1-1 TEL 044(922)2181 FAX 044(934)8652

交通 小田急線「向ヶ丘遊園」駅下車南口より徒歩13分

開園時間 [3~10月] 9時30分~17時 [11~2月] 9時30分~16時30分(入園は閉園30分前まで)

休園日 毎週月曜(祝日の場合は開園)、祝日の翌日(土・日曜の場合は開園)、12月29日~1月3日

入園料 一般500円、高校・大学生300円、65歳以上300円(川崎市在住の方無料)、中学生以下無料